

平成28年度情産協通常総会開催



(吉岡情産協会会長)

一般社団法人島根県情報産業協会平成28年度通常総会を、6月15日松江市殿町サンラポーむらくもで開催しました。総会には、議決権者61名のうち57名の参加がありました。今回の総会には、三好申明総務省中国総合通信局情報通信部長、隅田誠経済産業省中国経済産業局地域経済部次長、安井島根県商工労働部長等の各氏を来賓として迎え、会員ほか93名の方々が参加し、盛大なものとなりました。総会の冒頭、吉岡宏会長の挨拶、来賓祝辞の後、吉岡宏議長の選出等議事手続きに入りました。

議案は、平成27年度決算報告（第1号議案）及び監事選任（第2号議案）でした。いずれの議案も、特段の質疑なく、全員の賛成で議決されました。

議了の後、平成28年度の事業計画及び予算の報告（会報第49号で既報）があり、およそ1時間で総会の全ての次第が終了しました。



(三好中国総通局部長)



(隅田中国経産局次長)

続いて、安井島根県商工労働部長氏による「島根県の産業振興策について」と題し、講演を頂きました。安井部長の講演は、県の産業全体の振興策に

関わるものでした。特に、古事記千三百年イベント、出雲大社大遷宮の効果を持続的なものとするための、鳥取県との共同事業、山陰インバウンド機構の創設による観光産業の発展に期待



(安井県商工労働部長)

をしていることを改めて明らかにしました。観光産業は、運輸から、ものづくり、サービス各分野の総合産業です。ITが担う情報の収集・分析・提供機能はこの分野での不可欠なものであり、産業分野間のハイブリッドな展開が期待されています。

講演後、引き続き、86名の参加者で交流会を開催しました。楢野しまね産業振興財団代表理事副理事長の乾杯音頭の後、和気あいあいとした交流の一時をもちました。



(楢野副理事長)